

二宮尊徳像（二宮金次郎像）～ご存知ですか～

加太小学校の正面玄関脇にひっそりと石像がたたずんでいます。薪を背負いながら、本を読む二宮尊徳の少年時代(金次郎)の像です。この像は、明治のころから全国の各小学校に建立されました。

きっとおうちの方も小学生だった頃、通ってみえた学校でご覧になった記憶があるのではないのでしょうか。

二宮金次郎は江戸時代末期に農民の子として生まれ、貧しい少年時代を過ごしました。彼は朝から晩まで真面目に自ら働き、家では勉強させてもらえなかったので、集めた薪を家に持って帰る途中に本を読んで一生懸命勉強をしました。金次郎(尊徳)は、大人になって、荒廃した農村の復興に努め、人々の暮らしを豊かにしました。

加太小学校の二宮金次郎像は、昭和12年10月に有志の方に寄贈していただきました。

金次郎の台座には、「勤儉興村」の碑銘があります。金次郎の勤勉・儉約の精神を後世まで伝えたいとの思いが込められているのだと思います。

現在、現存している学校はとてま少なくなり大変珍しいものとなっています。先達の二宮尊徳像に込められた想いを受け継いでいきたいと思います。

